

外部評価結果対応票（内部評価結果と異なる1事業）

事業名	事業概要	内部評価	外部評価	再評価	委員の意見	対応策
<b>公民館各種学級運営事業</b> <b>【生涯学習課】</b>	地域住民の家庭教育、女性支援事業、環境教育、人権教育等の学級・講座を開催し教育力の向上に努める。	維持	事務改善	事務改善	① 住まいの地区公民館以外の講座に参加することに対して、地区外だから参加できないというような要件はないということだが、地区外の公民館の魅力ある講座を紹介するなど参加しやすくなるような広報に努め、また参加を促すような仕組みも検討してほしい。  ② 予算縮減傾向の中で事業の効果を引き続き獲得していくために、講座への参加者の適正な負担水準を検討することや、事業費の透明性向上を図る必要がある。  ③ 各公民館の主体性を重要としつつも、市の所管部署が各公民館の運営に対し適切な調整機能を果たすべきである。  ④ 公民館に対して、若い市民がより身近に感じてもらうために、若い方の講座への参加を促す努力をしてほしい。	① 各地区公民館で開催する講座については毎月の各地区公民館報に掲載し、併せて各地区公民館独自で市のホームページで広報を行っていますが、今後は、各地区公民館報が一括して分かるようなページを作成し広報していきます。また、開催する講座に応じて、地区内外問わず積極的に広報していきます。  ② 事業費のうち講座への参加費や材料代は、各公民館において市公金等取扱マニュアルを遵守し取扱うとともに、会計課と監査委員事務局により毎年定期的に会計実施調査や監査委員による現況調査を受けています。引き続き、事業費の透明性の向上に努めます。参加者の負担水準については、各公民館の講座間において、公正かつ適正な水準となるよう調整していきます。  ③ 毎月定期的に開催する公民館職員会議等を通じて情報共有を行うなど適切な指導や講座運営に努めます。  ④ 勤労青少年ホームの講座や地域の青年団等の団体と連携し、若者が参加しやすい講座内容にするなど創意工夫を図るとともに講座の継続的な情報発信に努めます。

外部評価結果対応票（内部評価結果と同様の3事業）

事業名	事業概要	内部・外部評価	委員の意見	対応策
<p>「ふるさと鯖江の日」 記念事業 【市民協働課】</p>	<p>記念式典、記念イベントの開催を通じ、先人の功績やふるさとの「宝」に触れる機会を提供し、これらを活用した市民の自発的なふるさとづくり運動を推進する。</p>	<p>維持</p>	<p>① 鯖江市の誕生をお祝いする、鯖江市が合併をせず生き残ったことを市民が誇りに思う事業として、各イベントが当初の目的通り行われているか、再確認する必要がある。</p> <p>② 本来の目的のもとで、より多くの市民に「ふるさと鯖江の日」の意義を知ってもらえるように開催日の調整や参加費用の見直し、各イベントの組み立てなどを検討すべきである。</p> <p>③ 次代に引き継いでいくという目的を掲げることが大変重要であり、そこに更なる意識を注いで、今のイベントの構成を活用しながら、若い方の参加を促すなどの工夫をお願いしたい。</p>	<p>① それぞれのイベントの中で、事業の目的を再確認するため、アナウンス・展示・映像上映などを使った主旨説明の機会を設けます。そのことで、参加される市民の皆様がさらにふるさとを誇りに思っていただけのような事業を目指します。</p> <p>② 鯖江の誕生日である1月15日の開催を中心に据えながら、若い方や勤労者の方などこれまで参加の少なかった層も参加できるよう、開催時間等を見直しを検討します。あわせてSNSなど多様なメディアを活用し、事業のさらなる周知を図ります。</p> <p>③ これまでも各イベントには演奏者・出演者として若い方の参加をお願いしてきましたが、今後は市内小中学校における「ふるさと教育」の成果発表の場とすることで、より主体的な参加を促します。</p>

外部評価結果対応票 (内部評価結果と同様の3事業)

事業名	事業概要	内部・外部評価	委員の意見	対応策
<p><b>ITのまち鯖江推進事業</b> <b>【情報統計課】</b></p>	<p>ITのまちさばえを推進するため、全国でITのまちづくりで活躍されている方々によるIT推進フォーラムを開催する。</p>	<p>事務改善</p>	<p>① 何をもって「ITのまち鯖江」と言うのか、フォーラムを行う目的について明確にし、事業を行ってほしい。</p> <p>② 今年度、子ども向けのコンテストを行い、参加者や市民の意識の向上を図る取組を行ったことは評価する。しかし、全体的にはフォーラムに参加する市民が、IT関係者が多いという印象を受ける。より一般の方が参加できるような工夫を検討すべきである。</p> <p>③ 事業の目的を達成するためフォーラムを実施するにあたり、これからの市民の生活がどう変化するのか具体的なイメージを持てる内容とすることによって、市民全体にITのまち鯖江の認識が浸透するよう取り組んでほしい。</p>	<p>①②③ これまでにも、facebook、USTREAM、YouTubeでの情報発信、オープンデータによる市が保有する情報の公開、アプリの活用、公民館や老年大学でのアプリやタブレット講座、小中学校でプログラミングクラブ支援など、ITを活用して市民生活が豊かになるようなまちづくりに取り組み、「ITのまち鯖江」を推進してきました。ただし、アプリを使ったことのない方がいるなど、まだ市民に広く浸透していない部分もあり、多くの方にITをもっと身近に感じていただけるよう、取組を進めてまいります。</p> <p>「IT推進フォーラム」については、これまでオープンガバメントサミットや電腦メガネサミットと題して6回開催してまいりました。比較的専門性の高いイベントであり、一般の市民の方が参加しづらいとのご指摘もありましたので、来年度は視点を変えて、IT初心者にも親しめるような組み立てを検討します。</p> <p>現在、提案型市民主役事業化制度による提案者から、こどもからお年寄りまで幅広い世代の市民を対象として、クイズや体験型のゲームを通してITの仕組みや活用事例などを学びながら、生活にどのように使われ役立っているか、そして今後の可能性について初心者にもわかりやすく学べる内容とするとの提案がされていますので、今後、イベントの実施内容等について検討します。</p>

外部評価結果対応票 (内部評価結果と同様の3事業)

事業名	事業概要	内部・外部評価	委員の意見	対応策
<p>街なか賑わいづくり 振興事業</p> <p>【商工政策課】</p>	<p>賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なかの賑わいを創出し、事業者の人材育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の振興を図るために商店街の活性化やイメージアップにかかる事業に対する支援を行う。</p> <p>誠市：毎月第2日曜日、本山誠照寺にて開催。(3月～12月) 骨董市をはじめ、地元飲食店などが出店し、季節に応じた様々なイベントを催し、街なかの賑わいを創出している。</p>	<p>事務改善</p>	<p>① 中心市街地の活性化に向け、引き続き誠市開催の主旨を意識づけて欲しい。</p> <p>② すでに取り組んでいることかと思うが、西山公園や商店街、周辺施設への回遊性の向上に努めてもらいたい。</p> <p>③ 骨董市が先行してあるということで、どうしても年配の方が中心という印象を受ける。子供向けのブース等を設置し親子連れの客層に取り組んでいる成果は評価できるが、繰り返し開催する中で実験的な試みとして若い方の客層にも広がるよう工夫をお願いしたい。</p>	<p>① 誠市開催を契機とした中心市街地の賑わいづくりや周辺商店街の活性化を主旨としており、実行委員会にて再度周知を図り意識づけを行います。</p> <p>② 誠市開催日に併せて周辺施設の「市民ホールつつじ」にて開催している高年大学主催による「まちなか講座」の継続開催や道の駅西山公園において誠市のPRを積極的に行うとともに周辺商店街への働きかけを行います。</p> <p>③ 現在までも季節感のあるイベントや食の提供、クラフト市、野菜市開催などに取り組んできたが、今後はサブテーマに沿った誠市の開催を意識し、若手実行委員メンバー発案によるイベント開催や食の充実を図るとともに来場者のニーズ把握を行うなど、若い方や親子連れの誘客に繋がる具体的な取り組みが実施されるように実行委員会にて協議を行います。</p>